

教文館

重版案内

買切

2025年6月下旬

神の痛みの神学

オンデマンド版

待望の復刊！

北森嘉蔵 著

なぜ神は自ら傷を負い、痛み給うのか？
福音に現れた「神の愛」を「神の痛みに基礎づけられし神の愛」と理解し、従来のキリスト教の神理解に新局面を拓いた画期的な神学書。すでに5ヶ国語に翻訳された現代の名著。

神の痛みの神学



北森嘉蔵

オンデマンド版

《著者紹介》

北森嘉蔵 (きたもり・かぞう)

1916年、熊本県熊本市に生まれる。日本ルーテル神学専門学校、京都帝国大学卒業。京大文学部哲学科では、田辺元のもとで学ぶ。東京神学大学名誉教授。日本基督教団牧師。1998年逝去。終戦直後の1946年（昭和21年）に出版した『神の痛みの神学』は、教会内外で広く読まれ、日本の神学が世界のキリスト教界において市民権を得るために決定的に貢献した。

A5判・並製・356頁・定価 5,720 円（本体 5,200 円 + 税）ISBN978-4-7642-0367-9 C0016